

研究課題名	小児における溶連菌咽頭炎後の定期尿検査の有用性についての検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 小児科 氏名 岡田 麻理
研究期間	(西暦) 2019年 1月 ~ 2021 年 12月
研究の意義・目的	溶連菌感染の診断後、PSAGNの早期発見を目的とした一定の期間における尿検査は、本邦では一般小児科の慣例として実施されていることが多い。しかし、その有用性に関する明確なエビデンスは存在していないため、溶連菌咽頭炎後の定期尿検査の有用性について評価を行う。
研究の方法 (対象期間含む)	匿名化後の臨床データ(年齢、性別、体重、尿検査、血液検査など)について統計的解析(現時点では解析方法は未定)を行う。 観察期間は平成31年(2019年)1月1日から平成33年(2021年)12月31日までの3年間を予定している。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①溶連菌診断後の定期尿検査の臨床的有用性を検討する目的で、匿名化した臨床データについて統計的解析を行う。研究の実施においては患者氏名を研究症例番号により匿名化し、患者個人情報の機密保護について十分な配慮を行う。 ②尿検査、症例によっては血液検査から得られた臨床データ(年齢、性別、体重、尿蛋白、尿潜血、血清クレアチニンなど)を用いる。検体自体の提供は行わない。 ③当院を受診し、溶連菌咽頭炎と診断された全ての小児患者(16歳未満) ④武蔵野赤十字病院 小児科 岡田 麻理
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 小児科 氏名 岡田 麻理 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525